

## 前回協議会(11/17)の主な意見及び対応（案）

### 第1章について

	主な意見	対応（案）
①	■計画の期間の中に中間見直しの記載が必要ではないか。	■第8章 計画の達成状況の評価にて記載。
②	■関連計画の中に、住生活基本計画が含まれていない。関連が深いように思うがいかがか。	■第3章にて整理。

### 第2章について

	主な意見	対応（案）
①	■地域の現状を分析するにあたりパーソントリップ調査結果を使用しているがデータとして古いと思うので、中間調査という意味で、パーソントリップ調査の補完的な役割を担う調査等を実施していただきたい。	■第8章にて記載（パーソントリップ調査と同規模の調査を実施することは極めて困難だが、今後の進捗管理において、必要に応じてアンケート調査等の補完調査の実施は検討）
②	■（4）環境負荷の推移について、「地球温暖化の進行が懸念されます」とあるが、地球温暖化は既に進行しているため「地球温暖化への影響が懸念されます」というような文言に修正が必要ではないか。	■該当箇所をご指摘のとおり修正。
③	<p>■立地適正化計画との整合性がとれているかしっかり確認する必要がある。もし、整合性が取れていないなら、その理由や互いの計画を修正するなどの連携が必要。</p> <p>■居住誘導区域の考え方における、居住促進エリアの考え方として「運行本数75本以上のバス路線」沿線と示してあるが、運行本数75本を今後維持していくことが困難な場合もあるので、考え方の整理が必要。</p> <p>■居住誘導区域と目指す都市の将来像における基幹公共交通軸において、西区方面の考え方が異なっているため整合を図っておく必要がある。</p>	<p>■立地適正化計画と下記の点について整合を担保。</p> <p>■居住誘導区域の設定について、現時点での指標として75本/日を設定しているものであり、将来的には、当該区域内について一定程度のサービス水準を維持していくもの。</p> <p>■西区方面において基幹公共交通軸ではあるものの、バスの運行本数が75本/日未満のため、居住誘導区域に設定していない箇所がある。当該箇所については、今後の基幹公共交通軸の機能強化に応じて、居住誘導区域への設定を総合的に判断するもの。</p>

## 第5章について

	主な意見	対応（案）
①	<p>■役割Ⅰについて</p> <p>行政サービスを受けることは住民にとって重要であるため「行政サービスの利用」という文言も入れる必要がある。それにより、政令指定都市に移行した本市が今後の公共交通のあり方を考える上で区役所をひとつの視点として捉えることにつながっていく。</p>	<p>■該当箇所をご指摘のとおり修正。</p>
②	<p>■目指す公共交通の将来像について</p> <p>行政、公共交通事業者、事業者、住民の役割の事業者の箇所において、「できる限り公共交通を利用することも重要です。」とあるが、後述との整合を図るため、「公共交通を積極的に利用することも重要です」という文言に修正が必要ではないか。</p>	<p>■ご指摘のとおり、事業者の役割について「公共交通を積極的に利用することも重要です」に記載事項を修正。</p>
③	<p>■目指す公共交通の将来像について</p> <p>行政、公共交通事業者、事業者、住民の役割において、行政、公共交通事業者、事業者の役割の中に、地域住民の意見を聞くという趣旨の文言を入れるべき。関連して、目標3にも同様の文言を入れていただきたい。</p>	<p>■公共交通事業者の役割にご指摘の趣旨を反映。行政の役割を説明する文中には「参画と協働」を記載しており、事業者は公共交通事業者以外の事業者を指すものであることから、行政と事業者については原文のとおりとする。</p>

## 第6章について

	主な意見	対応（案）
①	<p>■目標2について</p> <p>公共交通利用者数の推移を見ると、約46%が鉄軌道を利用しているが、基幹公共交通軸の8軸においては鉄軌道系の軸がないため、鉄軌道系の位置づけも必要ではないか。</p>	<p>■目標2において、鉄軌道に関する内容を追記。なお、第7章にて各軸を担う幹線としてバス及び鉄軌道を設定しているところ。</p>
②	<p>■計画の目標値について、もう少し具体的な数値が必要ではないか。</p> <p>■目標項目の設定については可能な限り明確に設定し、それに係る数値目標については具体的に明示する必要があるため、「維持」や「増加」ではなく具体的な数値で明示していただきたい。</p>	<p>■形成計画に関連する法律等により、数値目標の設定が必要。</p> <p>■数値目標については第6章にて修正。</p>

- 数値目標については、人口減少社会にあるため絶対数ではなく比率等が良い。
- 将来的な見直しも考慮し流動的な含みを持たせた目標値にするというような工夫も必要。
- 目標値 1 については記載しないほうが良いのではないか。仮に記載するなら、まず居住誘導区域とは何かを理解するため説明書きが必要となるし、立地適正化計画の数値目標として挙げられているので、本計画においては、公共交通に関する指標を掲げたほうがよいのではないか。
- 目標値 3（公共交通機関の年間利用者数）を最初に掲げて、目標値 2（目的地に行くときに公共交通機関を利用する市民の割合）を中心部に行く場合とそれ以外で分けるのも良いのではないか。
- 数値目標が目指すべき姿や役割を現しているものとなっていないことが多々ある。数値目標を定めず、文章で記載するのも良いのではないか。
- 2000 人市民アンケートにて公共交通の利用等に関する調査を実施し、数値目標の参考としてはいかがか。